

① 学習指導案

プログラム	No. 05 「地域のよさを伝えるパンフレットをつくろう」
単元名 (全14時間)	「合馬のよさ」を伝えるパンフレットを作ろう
学習のねらい	<p>&lt;知識・技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合馬のたけのこや景観、文化などの魅力は、合馬に住む人々が地域と繋がりをもち、受け継ぐことによって生まれていることを理解する。</li> <li>○ 調査活動（インタビュー・本・インターネット等）を相手や目的に応じて適切に実施することができる。</li> <li>○ 合馬の魅力への理解は、地域の人、もの、ことに関わりながら探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。</li> </ul> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今までの体験活動を通して感じた関心をもとに課題を自らづくり、解決に向けての見通しをもつことができる。</li> <li>○ 課題の解決に必要な情報を、目的や状況に応じて手段を選択し、多様に収集したものを分類・整理・蓄積することができる。</li> <li>○ 相手意識・目的意識をもち、伝える内容、方法について考え、パンフレットに分かりやすく表現することができる。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力・人間性等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 合馬のたけのこや景観、文化などに関心をもち、自分の生活を見直したり、他者の考えを認めたりしながら、自らの意思で課題を解決しようとする。</li> <li>○ 合馬の魅力を伝えるために、地域の人や友達の考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組もうとする。</li> <li>○ 自分も地域の一員であることを自覚し、地域のためにできることを考えて積極的にかかわろうとする。</li> </ul>
学習内容	<p>1 「合馬のよさって何？」（話し合い）—国語科「クラスみんなで決めるには」と関連させて—</p> <p>2 「合馬のよさを調べ隊」（調査活動）—総合的な学習の時間「合馬の伝統を受け継ごう～「合馬子ども神楽披露会」に向けて、図画工作科「竹灯籠作り」、フィールドワーク（ごみゼロ運動）と関連させて—</p> <p>3 「パンフレットを作ろう！」—国語科「世界にほこる和紙 伝統工芸のよさを伝えよう」と関連させて—</p>
参考資料 準備品 実施場所等	<p>（教師）小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編 平成29年7月 文部科学省、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料</p> <p>小学校 総合的な学習の時間 令和2年3月 文部科学省国立教育政策研究所</p> <p>（児童）「合馬の魅力を伝えるパンフレット～合馬小学校5年～」・タブレ</p>

ット・資料・ノート・プリンタ 教室、校区域
--------------------------

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
(8)	(国語科「クラスみんなで決めるには」) ○「合馬のよさをみんなに伝えたい。」という議題について話し合い、話し合いでまとめた解決策を共有したりする。	・昨年度の5年生が作成した「合馬の魅力伝えるパンフレット～合馬小学校5年～」を活用し、児童のパンフレット作りへの意欲を喚起する。 ・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめさせる。 ・目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ばせる。	・行動観察、発言分析、ノートの記述
2	1. 合馬のよさって何？ ①自分の担当する「合馬のよさ」を箇条書きで付箋に書き出し、ワークシートに貼付する。 ②ノートをもとに、ペアで自分の担当する「合馬のよさ」の内容についてプレゼンし、それぞれの内容について助言し合ったり、共通理解を図ったりする。	・多様な立場から意見が出るように、教師が意図的にペア・グループ分けを行って話し合わせる。 ・ノートを書画カメラで大型テレビに映し出し、画面共有しながらプレゼンを行うようにする。	・行動観察、付箋記述、ノートの記述 ・行動観察、発言分析、ノートの記述
4	2. 合馬のよさを調べ隊 ①ノートをもとに、調査する計画を立て、インタビューや資料提供のお願いをする。  ②「合馬のよさ」について調査をする。	・計画する際には、資料をどのように集めるか、インタビューをどのように行うか等を考えさせ、調査の見通しをもたせる。 ・インタビューや資料提供の依頼は、事前に教師がしておき、許可が出てから、児童に依頼文を作らせる。 ・インタビューに関しては、相手の時間の都合によって、課外に時間	・行動観察、発言分析、計画表、依頼文 ・行動観察、発言分析、ノート記述、イ

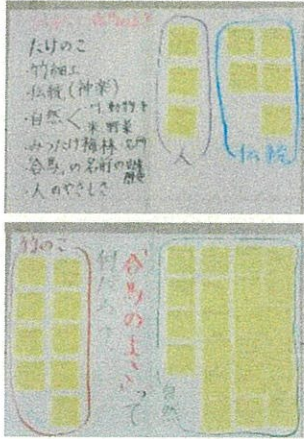

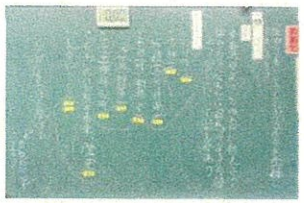
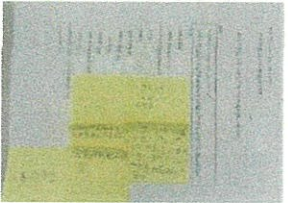

	(インタビュー、資料、本、ネット等) ③蓄積した調査の資料を分類・整理する。	を設ける等、弾力的に取り扱う。 ・調査が進むと、資料が膨大になる。パンフレット作成前に、相手や目的に応じて、分類・整理をすることで、学習を振り返り、自分の成果を感じられるようにするとともに、パンフレット作りの見通しをもたせる。	インタビューの振り返り ・行動観察、発言分析、ポートフォリオ
8	3. パンフレットを作ろう。 ①ノートと調査の資料をもとに、パンフレットの文章の構成を考え、下書きする。 ②必要な写真を選び、パンフレットの文章を紹介し合う。 ③パンフレットの文章を清書する。 ④出来上がったパンフレットを見て、編集後記を書く。 ⑤パンフレットの紹介をする。	・ノートと資料を手元に置かせる。ノートの付箋の順に、資料から必要な内容を選んで文章を書くように指導する。 ・必要な写真をフォルダから選び、タブレットを使って、パワーポイントに貼り付けるよう、ICTサポーターと連携して指導する。 ・選んだ写真を大型テレビで共有しながら、文章を読ませ、お互いに助言し合う時間を設ける。 ・清書については、文字を丁寧に書くことに抵抗がある児童はタブレットを使い、ローマ字打ちに抵抗がある児童は手書きで行う等、児童の実態に応じた対応を心がける。 ・出来上がったパンフレットを読み、単元を通じた感想を編集後記として、文章に表すよう指導する。 ・パンフレットの写真をTV画面に映し出し、自分の担当する「合馬のよさ」を紹介させる。	・行動観察、発言分析、制作物 ・行動観察、発言分析、制作物 ・行動観察、発言分析、制作物 ・行動観察、発言分析、編集後記 ・行動観察、発言分析、振り返り記述





<留意点>


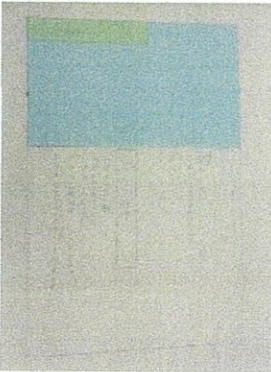


- ・ 導入の段階で、昨年度5年生が作成した「合馬の魅力を伝えるパンフレット～合馬小学校5年～」を活用し、児童の学習意欲を喚起する。
- ・ 児童の実態、興味・関心に応じて、パンフレットを作成するアプローチの仕方を工夫し、全員が達成感を味わえるようにする。




② 事業実施報告書詳細

学校名 北九州市立合馬小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
(8)	教室	<p>(本単元と国語科「クラスみんなで決めるには」の学習と関連)</p> <p>・「合馬のよさをみんなに伝えたい。」という議題について、解決方法を話し合ったり、話し合いでまとめた解決策を共有したりする。</p> <p>・「合馬のよさ」をしっかり伝えるために、内容ごとに担当を決めてパンフレット作りをするよう助言する。</p>	<p>&lt;付箋を使って「合馬のよさ」を出し合う。&gt;</p>  <p>&lt;みんなに伝えたい「合馬のよさ」を絞る&gt;</p>  <p>&lt;役割分担を決める&gt;</p> 	<p>○「合馬のよさ」をたくさんの人に知ってもらいたいという思いをもった。</p> <p>「合馬のよさは、いっぱいある。」</p> <p>「早くパンフレットを作りたい。」</p> <p>「自分の担当のところを頑張りたいな。」</p>
1	教室	<p>1. 合馬のよさって何?</p> <p>①自分の担当する「合馬のよさ」を簡条書きで付箋に書き出し、ワークシートに貼付する。</p>		<p>「合馬のよさを分かりやすく伝えたい。」</p> <p>「詳しく調べていきたい。」</p>
1	教室	<p>1②ワークシートをもとに、自分の担当する「合馬のよさ」の内容についてプレゼンし、それぞれの内容について助言し合ったり、共通理解を図ったりする。</p>	<p>&lt;話し合いの結果、決まった内容を簡条書き&gt;</p> 	<p>○プレゼンすることで、友達の意見をもらい、パンフレットに記す内容を精選することができていた。</p>

1	教室	<p>2. 合馬のよさを調べ隊 ①ノートをもとに、調査する計画を立て、インタビューや資料提供のお願いをする。</p>	<p>&lt;インタビューの練習をペアで行っている様子&gt;</p> 	<p>○インタビューや調査する計画を立て、ワークシートに調べたいことを記入することで、学習意欲が高まっていた。 「本番でも、練習通り、上手にインタビューしていきたい。」</p>
2	校区	<p>2②「合馬のよさ」について調査をする。</p>	<p>地域の自然や、地域の拠り所となっている場所に行き、観察したり、インタビューしたりして、課題解決を図った。</p>   	<p>○実際に足を運ぶことにより、新しい発見をしたり、地域の方との関わりを改めて実感したりしていた。 ○地域の方の話聞き、地域の方の合馬に対する愛着を感じ、「その思いを自分達も受け継ぎたい」という思いをもった。 「古い歴史があるお寺だ。」 「三岳梅林は合馬小学校と繋がりが深いね。」 「あつ、あそこに魚がいるよ。」 「竹林公園は、竹林を散歩したり、竹を使ったものを紹介していたりしているよ。」</p>

1	教室	③蓄積した調査の資料を分類・整理する。		○もらった資料やインタビューで得た情報を見返し、パンフレットにまとめる上で、必要な情報を選び、学習の見通しをもつことができた。
1	教室	3. パンフレットを作る。 ①ノートと調査の資料をもとに、パンフレットの文章の構成を考え、下書きする。	<p>&lt;パンフレットの割付&gt;</p> 	○パンフレットの割付をし、タブレットを使って、写真・表、文章にまとめる見通しをもった。 「今度から、タブレットでまとめられる。とても楽しみだな。」
1	教室	②必要な写真を選び、パンフレットの文章を紹介し合う。		○写真や文章を紹介し合う中で、互いに刺激を受け、助言したり、友達の発表を下に内容を改善したりしていた。
4	教室	③タブレットを使って、パンフレットの文章を清書する。	<p>&lt;出来上がったパンフレット一部抜粋&gt;</p> 	○タブレットでパンフレットの文章を清書することにより、字を書くことに抵抗がある児童も進んで、学習に取り組んだ。 ○タブレットで仕上げたので、きれいに仕上がり、児童達は達成感を得ていた。  「聞いたことと、

			<p style="text-align: center;"><b>三岳梅林のひみつ</b></p>  <p>三岳梅林は、山形県三好町の三岳山にあり、約1000本のさくらが咲き誇る美しい梅林です。毎年春には多くの観光客が訪れ、桜を満喫しています。この梅林には、古くから伝わる「三岳の梅」の品種があり、その歴史や特徴について詳しく紹介します。</p> <p>梅林の歴史は、江戸時代から始まり、明治時代には「三岳の梅」として全国的に有名になりました。この梅は、花が小さく、咲き始めが遅いという特徴があり、春の訪れを待たずに咲き始めるという、少し変わった魅力があります。</p> <p>梅林には、桜だけでなく、梅の花も咲き誇ります。桜と梅の花が同時に咲くという、珍しい光景が楽しめます。梅林を訪れる際には、ぜひ桜と梅の花を一緒に鑑賞してみてください。</p> <p style="text-align: center;"><b>合馬の米</b></p>  <p>合馬には、おいしい米や野菜を作っているところが合馬のいちばんの宝です。</p> <p>【合馬の米】（おしあきインクロー）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 米の銘柄</li> <li>○ 育てる工夫</li> <li>○ 合馬小学校の米作り</li> </ul> <p>合馬には、色々なお米の種類があるのを知ってびっくりしました。お米は種類が少ないと思っていました。田植えの時に地域のみなさんが手伝ってくれて、とてもありがたかったです。</p>	<p>自分の考えを分けるために、聞いたところは、赤い四角で囲もう。」</p> <p>「写真と文章を上手く組み合わせることができた。パンフレットがきれいにできて、嬉しい。」</p>
1	教室	④出来上がったパンフレットを見て、編集後記を書く。	<p style="text-align: center;"><b>編集後記</b></p> <p>このパンフレットを作る中で、大変な作業でしたが、子どもたちが一生懸命に取り組んでくれたおかげで、とても素敵な作品ができました。子どもたちの成長を感じることができました。</p> <p>このパンフレットには、子どもたちが自分で撮影した写真や、自分で書いた文章が盛り込まれています。子どもたちの創意工夫が、このパンフレットを特別なものにしています。</p> <p>このパンフレットは、地域のみなさんに読んでいただき、合馬の魅力を伝えることに役立てたいと思います。また、子どもたちの活動の記録としても残していきたいです。</p> <p>最後に、このパンフレットを制作してくれた子どもたち、そして応援してくれた地域のみなさんに、改めて感謝の言葉を述べさせていただきます。</p>	<p>○パンフレットの完成度が高く、児童等も作品に満足していたため、編集後記はすらすらと書けていた。</p> <p>○パワーポイントで一斉に編集後記を書いたため、早く終わった児童が友達の文章を読んで、よさと改善点を伝えていた。</p>
1	教室	⑤パンフレットの紹介をする。		<p>○パンフレットを上手にまとめられた達成感から、自信をもってパンフレットの紹介をすることができた。</p> <p>○自分や合馬小学</p>

				校と、地域との関わりを意識して発表する児童が多くいた。
--	--	--	--	-----------------------------

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童が育んできた「合馬」に対する愛着・郷土愛を更に深められるように取り組んだ。学校行事・総合的な学習の時間等の体験的な活動や他教科と関連付け、クロスカリキュラムを構成し、学習効果を高め、授業時数の確保に努める工夫をした。</li> <li>○ 昨年度5年生が作成した「合馬の魅力を伝えるパンフレット」を参考にしながら、本学習を進めた。このパンフレットは、4年生が3年生の国語科「わたしたちの学校じまん」の学習時に参考資料として活用したものである。昨年度学校の中や地域から好評を博したパンフレットを使うことで、相手意識をもたせ、自分達も学校や地域で役に立つパンフレットを作りたいという児童の意欲を高めることができた。</li> <li>○ タブレットでパンフレットを作るために、事前学習として、理科の観察カードや国語科「伝統工芸のよさを伝えよう」の学習をタブレットでまとめさせた。写真を貼付することや文章を入力することを中心に、タブレットを使って学習を進めた。児童に自信をもたせ、自分達の作りたいものを作る基盤となった。</li> <li>○ 児童等が自分の考えややり方に行き詰まることのないように、ペア・グループでの話し合いや、全体で共通確認する場を多く設定した。自分の表現したいことを生き生きと話すことで、自分の考えがより確かなものとなった。また、友達に助言をもらえたことも、考えを広げたり、深めたりする上で、意義深かった。ICTサポーターの先生に、タブレットの技術的なサポートを依頼したことにより、児童に安心感が生まれた。パンフレット完成に向けて一生懸命作業に向かうことができた。</li> </ul>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童のICT活用能力に差があり、計画当初より作成に時間がかかった。</li> <li>○ 今年度は地域の方との交流を図ることにより、自分も地域の一員であることを自覚し、地域に積極的にかわろうとする心情を育てることを大切にされた。新型コロナウイルスの感染状況に応じて、地域に足を運ぶ時期を見極めながら実施した。</li> </ul>
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度の5年生が作成したパンフレットをモデルとして、自分達がパンフレットを作った、地域に配布することができたことは、大きな達成感と満足感を得ることに繋がった。</li> <li>○ 本校の児童等は、今までの体験的な学習の中で、「合馬のよさ（合馬の景観、伝統、文化）」をたくさん感じて大きくなってきた。自分達の誇りとしている合馬の景観、伝統、文化を調べる活動では、児童等は「合馬のよさ」を再認識し、地域の人への感謝の思いを新たにしていた。</li> </ul>



(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- 担当教諭は、昨年度5年生で「合馬の魅力を伝えるパンフレット」を作成した。そのノウハウを用いて、今年度は4年生で実践を行った。今年度の児童達も、合馬の長年にわたる「地域の特色」を生かした学校行事、生活科・総合的な学習の時間の積み重ねによって、合馬に対する愛着を育てており、「合馬のよさ（景観）」を地域の人に伝えたいという強い意識があった。児童等が話し合い、地域を調査し、パンフレットにまとめていく中で、合馬の景観・伝統・文化等のすばらしさを再認識し、それに携わっている合馬の人のやさしさに触れることができた。合馬の「ひと・もの・こと」の全てが「合馬のよさ」なのだ気付くことができた。
- 担当外教諭は、出来上がったパンフレットの完成度に驚いていた。昨年度は5年生がパンフレットを作成していたが、4年生でも、焦点を絞って学習すると、地域に対する愛着を高め、集中して学習を展開できることを確認した。今までの合馬の長年にわたる「地域の特色」を生かした学校行事、生活科・総合的な学習の時間の重要性を全職員が再認識している。今年は、3学年でも「合馬小学校のよさ」を地域の方々にインタビューする等、地域教材を開発していた。

(5) 今後の課題と取り組み（児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等）

- 本校は、体験的な活動が他校と比べて非常に多く、時数の確保が重要な課題となる。今後も、クロスカリキュラムを意識した教育課程を編成し、学習効果を高め、授業時数の確保に努める工夫が必要である。また、地域への愛着を高めるためには、地域（景観）のよさを知る取組を系統的、段階的に教育課程に組み込む必要がある。
- 今回タブレットでパンフレットを作成したが、日頃から児童がICTの活用に慣れておくことが大切である。そのためには、ICTリテラシーを高めるカリキュラムの再構築を図り、学校としてのICT教育の充実が求められる。